

国際パートナーシップを活用した高効率ノンフロン機器導入拡大等事業



【令和4年度要求額 189百万円（189百万円）】

フルオロカーボン・イニシアティブの推進等により、CO2に加えフロン・ブラックカーボン等の削減に貢献します。

1. 事業目的

- ① フロン・BC*1等の短寿命気候汚染物質(SLCP)に関する国際パートナーシップ(CCAC*2)のアジアでの活動を主導する。
- ② COP25において設立した、我が国発のフルオロカーボン・イニシアティブの推進や、我が国の高効率ノンフロン機器等の国際展開を通じて、フロン・BC等のSLCPを国際的に削減、短期的な気候変動対策に貢献する。

*1：ブラックカーボン（Black Carbon）。非効率・不完全な燃焼で発生する。

*2：SLCP削減のための気候と大気浄化のコアリション（Climate and Clean Air Coalition to Reduce Short-Lived Climate Pollutants）

2. 事業内容

(1) 短期寿命気候汚染物質削減に関する国際パートナーシップ拠出金
(135百万円) ※拠出額は125万ドル

(2) 短期寿命汚染物質削減対策調査・検討業務（53.5百万円）

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、各国におけるSLCPの排出量等の現状把握を行うとともに、コロナ禍からの復興の機会を捉えた排出削減方策やCCAC等の国際機関の効果的な活用の検討を行う。特にフロンについては、主要国・地域の市場分析や技術水準の調査等を踏まえ、我が国の高効率ノンフロン機器国際展開のための戦略を策定する。
- ② フルオロカーボン・イニシアティブ推進のためのワークショップ等の開催を通じ、フロンのライフサイクルマネジメントの取り組みを促し、アジア地域を中心に国際社会に働きかけ、本邦企業の高効率機器・質の高いインフラ輸出やJCMクレジット取得につなげる。

3. 事業スキーム

- 事業形態 拠出金・委託事業
- 拠出先/委託先 SLCP削減のための気候と大気浄化のコアリション（CCAC）、民間団体等
- 実施期間 平成25年度～

4. 事業イメージ

我が国の技術・経験を活かして、高効率ノンフロン機器の導入拡大によるエネルギー起源CO2削減
国際社会でのルールメイキングによる本邦企業の国際展開支援



CCACへの拠出・活動の主導



フルオロカーボン・イニシアティブの推進



我が国の空調冷凍分野の高効率化・ノンフロン化技術、フロン回収技術



COP25でイニシアティブの設立を宣言する小泉大臣

お問合せ先： 地球環境局国際地球温暖化対策担当参事官室 03-5520-8330、地球環境局地球温暖化対策課フロン対策室 03-5521-8329